

# 平成30年度 ロープジャンプ小学生大会



## 7度目のチャレンジ

日野市立豊田小学校 元教諭 五十嵐 優子

練習で辛い思いをした分、仲間で一つになれる喜びを味わえるのがロープジャンプの大きな魅力です。今年は、運動会が終わったばかりの10月からチームを結成し、練習を積み重ねてきました。子供たちが自分たちの力で目標を達成できるように、並び方やチーム名、練習後の振り返りなど、できる限り子供たち主体で行うようにしました。他にも、チームの歌を作ったり、オリジナルの掛け声を決めたりすることで、子供たちの団結が日に日に深まっていくのを感じました。私自身も過去6回の挑戦の中で学んだことを全て子供たちに伝え切ることができたと思っています。本番、自分たちのジャンプを心から楽しむ子供たちは、誰よりも輝き、自信に満ちていました。素晴らしい結果を残すことができ、改めて子供たちの力を最後まで信じ切ることの大切さを痛感することができました。



日野市スポーツ推進委員会だより

vol.7  
2019.12.18

# ひのスポ

編集：日野市スポーツ推進委員会 発行：日野市文化スポーツ課



## ボッチャ日野カップ2019開催!!

令和元年度11月2日にボッチャ日野カップ2019を開催しました!

ボッチャ日野カップには16チーム・73名が参加し、白熱した試合を繰り広げました。

1ブロック4チームの総当たり戦で予選リーグを行い、上位2チームによる決勝トーナメントで順位を争いました。小学生から大人まで幅広い方々に参加していただき、とても盛り上がった大会になりました。

決勝戦はひのいちジャニーズA対僕たち、ボツ

ちゃん。(平山小)の手に汗握る戦いで、2-1でひのいちジャニーズAが勝利し、優勝しました。

優勝・準優勝の2チームは、令和2年2月に行われる「東京都市町村ボッチャ大会2020」に日野市代表として参加していただきます。

東京都市町村ボッチャ大会でも日野市代表の2チームが大活躍することを楽しみにしています!!



《優勝》ひのいちジャニーズA



《準優勝》僕たち、ボツちゃん。

## スポーツの関わり方

議長 真崎 裕介



日野市スポーツ推進委員の発行する『ひのスポ』も第7号になりました。たくさんの方に読んで頂いて、『ひのスポ』をきっかけに、より多くの皆さまがスポーツを楽しんでもらえる事を願っています。

さて、2019年はラグビーワールドカップが日本の各地で行われました。開催期間中は電車や街中でユニフォームを着た外国からのサポーターを見かけることがありました。居酒屋さんで声をかけた方もいたのではないのでしょうか。そしてまた、パブリックビューイングや仲間と集まってのテレビ観戦など、今まであまり関心を持っていなかった人も今回の熱戦を通して新たな楽しみ方を体感した方も多かったのではないのでしょうか。

スポーツの関わり方、楽しみ方には「する、見る、支える」という標語があります。普段からラグビーをする人だけではなく、今回のように実際の競技場やテレビなどで観ることも、立派なスポーツの楽しみかたです。2020年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。さらに多くの熱戦が、身近な会場で、時差もなく繰り広げられるでしょう。

その東京オリンピック・パラリンピックは、たくさんの運営ボランティアによって支えられています。これもスポーツとの関わり方の1つです。沿道の整備や運営のサポートなど多種多様なボランティアを必要としています。

大きな大会があると注目を集めますが、このような機会をきっかけに、普段から外国から観光で来た方や、車椅子や視覚障害などハンディキャップを持つ人へ「何かお手伝いする事ありますか?」と気軽に助け合える社会が作り出せれば、それがまさしくスポーツをきっかけにした大きな変化だと思います。

何かの機会をきっかけに、皆さんも楽しみながらスポーツと関わりを持って頂けることを願っています。

# 1年間を振り返って

小寺美和さん



長くフィットネスに関わっていた事もあり、地域でも何か貢献出来る事があればとスポーツ推進委員を志望しました。

初めての経験ばかりで戸惑う事ばかりでしたが、明るく、パワフルな先輩委員の方と何より参加される市民の皆さんの笑顔に助けられ、なんとか活動して行く事が出来ました。

また、活動を通して、日野の新しい魅力を発見し、今まで携わってこなかったスポーツの分野に触れる事で、とても世界が広がりました。

そのような経験ができる様々な事業が、まだあまり知られていない事が残念です。

もっと沢山の方に色々な事業に参加していただき、スポーツや日野の魅力を知らせていただくためにこれからも頑張ります。

皆さん是非イベントでお会いしましょう。



高村英さん

私がスポーツ推進委員を始めたのは、友人がスポーツ推進委員をやっている、ウォーキングに参加をしていたことがきっかけです。市民としてウォーキングに参加している時、委員の皆さんが大変そうながらも、楽しそうに活動していたのを見て、チャンスがあればやってみようと思うようになりました。ちょうどそんな頃に日野市の広報で、スポーツ推進委員募集の記事を見ました。

自信はありませんでしたが面接を受けました。そして運良く採用していただき、昨年の4月より活動をさせていただいております。

今までウォーキングには参加した事はありましたが、それ以外にどのような活動をしているのかなど全く知りませんでした。

スポーツ推進委員はウォーキングだけではなく、実にいろいろな活動を通して市民の皆様が少しでも健康で、長く楽しく生活できることを前提として様々な取組をしています。

体力測定、障がい者と健常者がともに運動できるユニバーサルイベント、そしてスポーツ体験会など。半分以上の委員が仕事をしながらの活動で、夜や土日市民の皆様のために、会議や研修と活発に活動をしています。

一日も早くスポーツ推進委員に溶け込み皆様と共に健康で楽しい毎日を送れるよう、自分自身が楽しんで活動して行きます！よろしくお願いします。

私は、生まれ育った日野市で何かお手伝いが出来ないかと思っていた時にスポーツ推進委員の事を知り参加させて頂きました。

スポーツ推進委員になって、初めて知ったスポーツも色々ありましたが、市民の皆さんと一緒に楽しみながら出来たこと、皆さんの笑顔に近くで見られたこと、市民の皆さんから楽しかったと言ってもらえたことは、スポーツ推進委員になって本当に良かったと思いました。今後はスポーツ推進委員として、市民の皆さんにもっと楽しんでもらえるようなスポーツを企画して行きたいと思います。更に高齢の方も障害のある方も一緒に楽しめるスポーツをもっと考えて行きたいです。これからもスポーツ推進委員を宜しくお願いします。



多田若恵さん



私がスポーツ推進委員になったきっかけは、ある日市報を読んでいた時に「スポーツ推進委員募集」の記事を見かけた事でした。私自身、スポーツをするのも見るのも好きなので、何かしらスポーツに携わる仕事をしたいと思っていました。そこで見かけた「スポーツ推進委員」の募集！これは運命的だと感じ、応募しました。そして、晴れてスポーツ推進委員となったわけです。

個人的な目標として、将来パラスポーツ（障害者スポーツ）の大会を日野市で開催していきたいと考えています！パラスポーツを通して健常者と障害のある人との壁をなくしていきたいです！

スポーツを通して、みなさん笑顔になりましょう！



徳田無我さん

## 曾根孝子さんが地方自治功勞で日野市表彰を受けました!!



曾根さんは体育指導員として14年、スポーツ推進委員として7年3カ月活動しており長年にわたりスポーツ推進活動に尽力し、市民のための健康づくりに貢献してきました。

11月3日に行われた日野市表彰式に出席し、地方自治功勞を受章されました。これからも曾根さんのスポーツ推進委員としての活躍を楽しみにしています！

本当に気づいたらあっという間の20年でした。子供たちとニュースポーツで遊んだり、市民の方々とウォーキングしたり、歩くのが嫌いだったのに「いつもいるね」と声をかけてもらえるようになりました。ハンドロウルも審判をしたりゲームをしたり、おかげさまでこのような賞を頂きました。ありがとうございました。  
(曾根 孝子)

## ハンドロウル10回大会までの歩み

ハンドロウルは、21年前に行われた長野冬季オリンピックのカーリングを見て思いつきました。カーリングがいつでも・どこでも・だれでもができるスポーツにならないかという思いから、老若男女そして障害のある方でも楽しめる競技として、試行錯誤を繰り返して、14年前に試作品を作りました。

当時は、体育指導員としてビーチボールの普及に取り組んでいたため、ハンドロウルの普及に力を入れることができませんでした。

ビーチボール連盟として日野市体育協会加盟と成り、ビーチボールからハンドロウルの普及に力を入れ、平成21年に第1回目のハンドロウル大会を実施しました。

しかし、まだ知名度が無く主催者も参加チームを集めるのが大変でした。2019年10月に行われた、10回大会では16チーム、48名迄に成りました。

日野市発祥のニュースポーツ「ハンドロウル」を皆さんも機会が有りましたら体験してください。  
(小堤 吉寿)

